

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年4月3日			
放課後等デイサービス事業所ふんすい					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
				課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・大きな部屋を2つに分けて、動いても良い部屋と静かに座って過ごす部屋に分けています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・人数をかける必要がある場面では、適切な配置に努めています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・バリアフリー設計となっているため、過ごしやすい空間となっています。 ・スケジュールボードの設置や絵カードを使うなどの環境設定を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・毎日消毒作業を行い、安心して過ごせる空間を作っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・6畳程の個室が2部屋とカーテンで区切られる空間が1つあります。いつでも使用することができます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	・個別支援計画に基づき日々の目標設定を行い、定期的な振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・1年に1度保護者評価を行い、いただいた課題について職員間で共有し、早急に対応できる事については迅速に取り組んでいます。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・午前中と支援開始前の2回、ミーティングの時間を設けています。日報にも記載し、不在職員も共有できるように努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	・第三者評価は行っていません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・法人内外の必要な研修を受講し、資質向上に努めています。 ・資格取得研修には、職員を積極的に送り出しています。	・支援に関する研修時間の確保が難しい場合があります。また、利用する子ども達に即した支援につながるような研修が必要です。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・法人HP及び館内掲示しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・面談を行い、アセスメントやニーズの把握に努め、放課後等デイサービス計画に反映しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・ケース会議や日々のミーティングでも検討を行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・日々の計画を記録に残し、計画に沿った支援に努めています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・インフォーマルアセスメントをメインにして、子どもの状況把握に努めています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・地域にある社会資源を有効活用して、人との交流を行っています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・ミーティングを行い、1週間ごとの活動プログラムを決めています。実際に行った時の反省点を元に、翌日は少しずつ変化をさせています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・5領域を念頭に置き、子ども達が全員参加できるような工夫と検討を行っています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・午前中と支援が行われる前の計2回行っています。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・朝のミーティングで前日の振り返りを行っています。		
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・事実のみを記録し、気になるところについては職員で共有し、改善に努めています。		
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・半年に1回はモニタリングを行い、見直しを行っています。		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0	・地域の社会資源を有効に使い、支援を行っています。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・絵カードを用いた視覚的支援を行っています。また、遊びたい玩具を冊子にまとめて選択しやすしたり、筆記用具などを自分で準備できるよう配置を工夫したりすることで、本人の「自己決定」と「自発的な行動」を促す環境を整えています。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	・学校へ訪問することもありました。また、相談支援専門員から主治医に連絡してもらうなど、連携する体制は整っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	・学校から予定表をもらい、迎え時間の共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	・保育園に訪問し、様子を見たり、話を聞いたりして情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0	・障害福祉サービスへ移行した子どもはいませんが、必要あれば情報提供は行っていきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	・児童発達支援センターとのやり取りはありませんが、主治医から助言をいただいています。	・市内に児童発達支援センターがありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	・地域にある児童館へ出向くことがありました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	・専門部会へは出席しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・迎え時や成長療育支援システム（HUG）で文字により伝えていきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	10	・玄関掲示などで外部研修の情報提供を行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・契約時や、変更が生じた時には必ず説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・子どもの状況に応じて言葉や表情などの様子も確認しています。 ・面談の際に、保護者や子どもから意向の確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	・迎えの時に提示して説明をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・必要に応じて助言を行い、相談支援専門員や関係機関を共有しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10	・父母の会の活動支援や保護者同士で交流する場は設けていません。交流の場の希望があれば検討をしています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・開業後、これまでに苦情はありませんでしたが、体制は整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・玄関に活動予定を掲示し、LINEで活動の様子を伝えることもありました。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・写真を使う時は保護者に確認をするなど、日々注意を払っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・言葉だけでなく、写真や文章にして伝えていきます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	・クリスマス会で地域の団体から来ていただき、交流する機会がありました。 ・避難訓練先の施設管理団体に説明し、研修や訓練へ協力をいただいています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・周知を行い、いつでも見られる状況を作っています。 ・毎年訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・火災や水害を想定した訓練を行いました。 ・訓練に際し、家族へのHUG連絡訓練も行いました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	・基本情報の更新時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・医師の指示を聞いた保護者の情報に基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・安全計画に基づき、毎月一回は必要な研修や訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	・安全計画はいつでも見られるように玄関に設置しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・事業所内だけでなく法人本部でも共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・年一回法人内の事業所合同で研修会を実施し、委員会も設置しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	・身体拘束をしたことはありません。重要事項説明書や契約書で周知しています。	